

市中総体激励式 校長激励の言葉

R8.6.9

令和8年度 長崎市中中学校総合体育大会出場を控えた皆さんに、
まずは『大会出場おめでとうございます。日頃の努力の成果が、本大会出場につながったと思います。次のステップとして、練習の成果を十分に（いや、十二分に）発揮し、いい結果が得られることを大いに期待しています。頑張ってください。

皆さん方ご承知のとおり、部活動の在り方が大きく変わり、部活動地域移行ということで今回も土・日曜日の参加は部員のみの参加となっています。

ただし、前から全く変わっていない点が、2つあります。

一つは、選手の皆さんは、『滑石中学校の代表選手である。』という点と、
もう一つは、『中総体のモットーが“感謝・マナー・勝負”である。』という点です。

どちらも『心』という点で皆さん一人ひとりがどのような思いで今回の中総体に臨むかという点が大切になります。この点は、選手ばかりではありません。同時に、このよう状況で頑張っている先輩・同級生・後輩の言動を見たり、聞いたりすることで、今回の市中総体に出場しない生徒の皆さんもどんな思いを抱き、どう行動するかが大きな課題となっています。

一生懸命に頑張れる環境を整えてくれている保護者・顧問の先生・コーチの方への思いばかりでなく、選ばれし中学校代表というプライド、あるいは、頑張っている選手たちに励ます思いを、市中総体テーマである“感謝”という言葉につなげて表してほしいと思います。

本校の生徒玄関にある掲示物の一説です。

“感謝なくして勝利なし！”

感謝の念なくして真の勝利者たるべからず！”

各部活動の活躍を大いに期待しています。そして、会場等の都合により限定された競技ではありますが、3日目の全校応援が実施されることを信じて、校長挨拶といたします。

令和8年6月9日

長崎市立滑石中学校
校 長 神尾 進二